

スポット ニュース

第8回跡利用検討委員会を開催しました

平成20年11月28日、第8回超深地層研究所跡利用検討委員会を開催しました。この委員会は、関係自治体の代表及び議会代表、学識経験者、地域の代表の方々及び原子力機構の役職員などで構成されており、超深地層研究所における地層科学研究が終了した後の施設の跡利用について検討する委員会です。

委員会では、原子力機構より瑞浪超深地層研究所の現状と当面の施設活用方策について報告を行い、委員の方々より貴重な意見をいただきました。また、会議終了後には、委員会の方々に研究所をご視察していただきました。



跡利用検討委員会の様子

研究坑道の活用方策の実施状況

現場での研究成果の展示



200mボーリング横坑の地層露出部分の整備



今後の進め方

深度300mに掘削する水平坑道についても、実際の地下の環境や研究現場の体験などができるように準備を進める。

体験学習への取り組み

(見学・体験・協力)



施設見学会の様子 サイインキャップの様子 中学校での授業の様子



SSHでの施設見学の様子 サイインキャップの様子

(ホームページを用いた情報発信)



研究坑道の地層の壁面写真やスケッチを用いて、パソコン上で連続的に観察することができるシステムをホームページに掲載

委員会でもいただいた主な意見

- ・研究坑道の避難所などにビデオを設置して見ていただくのはどうか。
- ・委員会において見学者の感想なども紹介すると、より議論しやすいのではないかと。

総合防災訓練を行いました

平成20年11月27日、瑞浪超深地層研究所にて総合防災訓練を行いました。今回は、「坑道内で作業中の作業員が転倒し負傷した」との想定で訓練を行いました。

訓練では、対策本部を立ち上げ、状況の確認や地元の自治体、関係機関、報道機関等への連絡手順の確認を行うとともに、瑞浪消防本部の協力のもと、坑道内で負傷した作業員の救出や応急処置等の救護活動訓練も行いました。



救護活動訓練での応急処置の様子

来月の主な作業予定 (1月)

【瑞浪超深地層研究所】(12月18日現在 主立坑：深度300.2m、換気立坑：深度300.2m)

- ①深度300mの主立坑と換気立坑をつなぐ水平の坑道の掘削作業
- ②深度300mの調査研究用の水平坑道の掘削作業
- ③水平の坑道(深度100m、200m)の既存ボーリング孔を用いた水圧等の長期観測
- ④既存ボーリング孔(MSB-1,2,3,4号孔、MIZ-1号孔、O5ME06号孔)での水圧等の長期観測
- ⑤排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水継続
- ⑥狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- ⑦研究坑道の排水等に伴う環境管理測定
- ⑧表層水理観測(気象観測、地表の傾斜量の観測等)
- ⑨名古屋大学との共同研究(ひずみ計測等)
- ⑩東濃地震科学研究所との研究協力に伴う岩盤の傾斜の長期観測等

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧等の長期観測



地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記の連絡先までお願いいたします。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【Eメール】tono-ck@jaea.go.jp

《東濃地科学センターホームページ：http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm》

東濃地科学センター 地域交流課(栢, 川瀬, 牧田, 福島)

「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」 第2条に基づく排水水等の測定結果 (平成20年11月分)

【採取日：平成20年11月6日】

単位：mg/ℓ (水素イオン濃度はpH)

| 測定項目 | 管理目標値 | 工事排水水 | 狭間川下流 | ※1 立坑の湧水 | ※2 狭間川上流 | ※3 掘削土の溶出量(主立坑) | ※3 掘削土の溶出量(換気立坑) |
|----------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------------|------------------|
| 水素イオン濃度 | 6.5～8.5 | 7.2 | 7.3 | 10 | 7.2 | | |
| 浮遊物質量 | 25以下 | 1未満 | 4 | | 2 | | |
| カドミウム | 0.01以下 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 |
| 全シアン | 検出されないこと | 検出されず | 検出されず | 検出されず | 検出されず | 検出されず | 検出されず |
| 有機磷化合物 | 検出されないこと | 検出されず | | | | | |
| 有機燐 | 検出されないこと | | | | | 検出されず | 検出されず |
| 鉛 | 0.01以下 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 |
| 六価クロム | 0.05以下 | 0.04未満 | 0.04未満 | 0.04未満 | 0.04未満 | 0.04未満 | 0.04未満 |
| 砒素 | 0.01以下 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 |
| 総水銀 | 0.0005以下 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 |
| アルキル水銀 | 検出されないこと | 検出されず | 検出されず | 検出されず | 検出されず | 検出されず | 検出されず |
| PCB | 検出されないこと | 検出されず | 検出されず | 検出されず | 検出されず | 検出されず | 検出されず |
| トリカドミウム | 0.03以下 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 |
| テトラカドミウム | 0.01以下 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 |
| 四塩化炭素 | 0.002以下 | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.0002未満 |
| γ-カドミウム | 0.02以下 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 |
| 1,2-γ-カドミウム | 0.004以下 | 0.0004未満 | 0.0004未満 | 0.0004未満 | 0.0004未満 | 0.0004未満 | 0.0004未満 |
| 1,1,1-トリカドミウム | 1以下 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 |
| 1,1,2-トリカドミウム | 0.006以下 | 0.0006未満 | 0.0006未満 | 0.0006未満 | 0.0006未満 | 0.0006未満 | 0.0006未満 |
| 1,1-γ-カドミウム | 0.02以下 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 |
| β-1,2-γ-カドミウム | 0.04以下 | 0.004未満 | 0.004未満 | 0.004未満 | 0.004未満 | 0.004未満 | 0.004未満 |
| 1,3-γ-カドミウム | 0.002以下 | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.0002未満 |
| チウラム | 0.006以下 | 0.0006未満 | 0.0006未満 | 0.0006未満 | 0.0006未満 | 0.0006未満 | 0.0006未満 |
| シマジン | 0.003以下 | 0.0003未満 | 0.0003未満 | 0.0003未満 | 0.0003未満 | 0.0003未満 | 0.0003未満 |
| チオベンカルブ | 0.02以下 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 |
| ベンゼン | 0.01以下 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 |
| セレン | 0.01以下 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 10以下 | 1.0 | 0.8 | 0.49 | 0.1 | | |
| ふっ素 | 0.8以下 | 0.2 | 0.2 | 9.6 | 0.1未満 | 0.1 | 0.3 |
| ほう素 | 1以下 | 0.37 | 0.28 | 1.2 | 0.02未満 | 0.04 | 0.03 |
| 塩化物イオン | — | | | 160 | | | |
| アモニア、アモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 | — | 1.2 | | | | | |

【測定期間：9月25日～12月末日】

| 花木の森散策路における空間放射線線量率 | 参考値 | 測定結果 |
|---------------------|----------------------------|------------------------------|
| | 測定中 周辺地域の空間放射線線量率と同等 ※5 | 測定中 3ヶ月の集積空間放射線線量 ※6 から算出 |

※1 立坑の湧水の値は排水処理によりふっ素・ほう素を除去する前の湧水の値です。排水処理後、狭間川へ排水します。
 ※2 狭間川上流は排水が流れない場所での採水のため、値は狭間川の河川の値となります。
 ※3 掘削土の溶出量は、掘削土の排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。
 ※4 空間放射線線量率は3ヶ月間の集積空間放射線線量と同等 ※5
 ※6 3ヶ月の集積空間放射線線量 ※6 から算出

【掘削区間程度毎の掘削土溶出試験結果 (主立坑)】

(単位：mg/ℓ)

| 項目 (参考値) | ふっ素 (0.8以下) | ほう素 (1以下) | 砒素 (0.01以下) | 鉛 (0.01以下) | 総水銀 (0.0005以下) |
|--------------------------|----------------|--------------|----------------|---------------|-------------------|
| 掘削区間 | | | | | |
| 300m 調査研究用の水平坑道(9～34.7m) | 0.4～0.5 | 0.10～0.22 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.0005未満 |

【掘削区間程度毎の掘削土溶出試験結果 (換気立坑)】

(単位：mg/ℓ)

| 項目 (参考値) | ふっ素 (0.8以下) | ほう素 (1以下) | 砒素 (0.01以下) | 鉛 (0.01以下) | 総水銀 (0.0005以下) |
|---------------|----------------|--------------|----------------|---------------|-------------------|
| 掘削区間 | | | | | |
| 278.2m～296.6m | 0.2～0.6 | 0.08～0.16 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.0005未満 |

【掘削土の溶出試験結果についてのお知らせ】

11月25日及び12月4日、12日に試料を採取した掘削土の溶出試験の結果、自然由来によるふっ素の溶出量が、協定に定める参考値(0.8mg/リットル以下)を超えておりました(11/25が1.4mg/ℓ、12/4が1.1mg/ℓ、12/12が1.0mg/ℓ)。なお、ふっ素の溶出量が参考値を超えた掘削土については、専門の処理施設へ搬出いたします。

瑞浪国際地科学交流館 ミニギャラリー 展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階のミニギャラリーでは、「ブルーファンタジー写真展」の作品を展示いたします。是非、交流館へ足をお運びください。
 また、展示作品の募集も随時行っております。展示は無料ですので、お気軽にお問合せください。

【期間】12月11日(木)～1月30日(金) 10:00～19:00

【場所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間36-8 (入館無料)

【休館日】年末年始(12月29日～1月3日)

《展示に関するお問合せ先》

地層研ニュース表面の連絡先へお問合せください。

瑞浪超深地層研究所をしてみませんか？

瑞浪超深地層研究所では、地下を体験できる施設見学会を下記のとおり開催します。希望される方は事前申込が必要となりますので、1月15日(木)までに住所、氏名、電話番号をお知らせください。また、申込み多数の場合は締切り前に受付を終了させていただくこともありますのでご容赦ください。なお、当施設見学会は毎月開催する予定です。

【開催日時】平成21年1月18日(日) (9:30～11:30)

【内容】地下約200mの世界を体験していただきます。

【対象】小学校4年生以上

(工事現場での安全の確保のため、お子様の場合は小学校4年生以上の方に限らせていただき、保護者同行をお願いしております。また、歩行困難な方等はお控えいただきますようお願いいたします。)

※氏名等の個人情報、当機構主催の見学会や講演会等のご案内に使用させていただく場合があります。